

## 臨床実習指導者の手引き（指導編）

※実習指導の目的や当院のオリエンテーションについては既存の資料の通り。

### 1) 臨床実習教育者（clinical educator：以下CE）の構成

近年、実習生数名に対し、CE1名の比率が推奨されている（2：1モデル）。しかし、当院では教育に関する知識や経験が少ない指導者が多いため、問題の早期発見や監督の意味を含め実習生1名に対し、CE1名、サブCE2名（OTは1名）での複数指導者制（短期実習においてはサブCE1名とする）とする。PTは病棟固定制のためチームが複数指導者となる。

①指導者の要件：臨床経験5年以上。

日本理学/作業療法士協会の新人教育プログラムを修了していること。

厚生労働省が指定した臨床実習指導者講習会」または「厚生労働省及び公益財団法人医療研修推進財団が実施する理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会」を受講し修了した者

副指導者を2回以上経験していることと。

②副指導者の要件：臨床経験3年以上が望ましい。

もしくは3年未満でも指導者になるための経験として指導を受ける場合。

### 2) 教育目標

臨床実習教育の目標については、当該施設の実習要綱や臨床実習生自身の目標などが異なるため統一した見解をまとめることは困難だが、2020年発刊の日本理学療法士協会「[臨床実習の手引き（第6版）](#)」p12~14、日本作業療法士協会「[作業療法臨床実習の手引き 2018](#)」p9~13, p20~24を参照し、臨床実習生と十分に共有し、かつ実習の進捗状況に応じて適宜見直すこと。

### 3) 臨床実習生の診療見学・参加についての留意点

【CEの心構え】

①臨床実習生が円滑に診療に参加できるよう支援する。（診療参加型臨床実習）

- ②参考となる書籍や文献を適宜紹介し、臨床実習生が自ら学ぶ力を支援する。
- ③事前に見学の目的を確認してから診療に入るよう心がける。
- ④CE やサブ CE で対応できない事象が起こった場合は、主任以上の上司の指示を仰ぐ。

**【臨床実習において学生に許容される行為の水準】**

無資格者の臨床実習生が臨床実習において、従来の患者を担当し理学作業療法を実施する実習体系が問題となっており、各協会は関連学会（医師・看護師など）の動向を踏まえ、以下に提言している。

日本理学療法士協会「[臨床実習の手引き（第6版）](#)」 p15~18

日本作業療法士協会「[作業療法臨床実習の手引き 2018](#)」 p7~8

以上を参考に、臨床実習生の行為における違法性の阻却を考え、対象者から行為を行うことに関する同意を得ることを前提として、水準に則り臨床実習生の医行為について判断すること。また判断に迷った時は速やかに主任以上の上司の指示を仰ぐこと。

※下記に挙げるような患者は対象者から除外するようにする

- ①患者またはご家族から、臨床実習生が関わることを拒否された。
- ②臨床実習生が関わるには医学的リスクが高い。
- ③臨床実習生が関わることで患者の心理・精神面に悪影響を及ぼす可能性がある。
- ④臨床実習生が患者から暴言や暴力などの不利益を受ける可能性がある。
- ⑤患者の社会的背景を考慮して、臨床実習生が関わるべきでないと判断される。

**【臨床実習の指導方法について】**

当院では診療参加型臨床実習(クリニカルクラークシップ:以下CCS)の教育方法を推奨する。

“理学療法士、作業療法士、として患者の利益を最優先に考え、患者担当はせず、CEの助手的な関わりから始め、段階的に診療に参加する”

《診療参加型臨床実習(CCS)に則った教育の進め方について》

CCSにおける臨床教育者の役割は、第1に「モデルを示す」こと、第2に「知識を伝達」すること、第3に「実際の症例での実技体験」、第4に「誉めること」とされている。

※以下①～④は基礎的概念について長野県理学療法士会「[臨床実習の理解と教育の手引き](#)」Ver.2より抜粋・改変して記す。

① 「見学」「模倣」「実施」の段階付け

見学：説明を加えながら見学させる。指導者を見て学ぶ段階。

模倣：指導しながら繰り返して実践させる。手取り足取り教える段階。

実践：模倣を繰り返し、スキルを習得する。指導者が手を退いていく段階。

② 技術項目の細分化による実施

担当患者を設けず、学生はCEの担当患者を対象とする。除外する対象者について前述の通り

技術項目についてはチェックリスト(学生持参)を参照のこと

③ “できることから”の診療参加する

まずは学生ができること、例えば血圧や脈拍測定、治療の環境整備などCEの周辺業務から助手的に関わり、早期から患者の診療に参加できる機会を作る。

④ CEの役割は教育資源であること

学生の変化を的確に判断し学習の進行を支援すること。基本的な知識を教える(求める)のではなく、問題探究や問題解決能力の育成を援助し、そのための学習資源として学生に関わる。

⑤ OJT(on the job training)という視点

具体的な業務を通じて各専門職に必要な知識・技術などを意図的・計画的・継続的に指導し、修得することを目指す。

※出来る限り“その時、その場で”フィードバックを行う。⇒ Now and Here の原則

#### 4) 臨床実習生への指導(事前計画とフィードバック)

##### 【事前計画】

①診療参加の前に臨床実習生との打ち合わせを行い、1日のスケジュールや目標の確認を行う。

(朝ミーティング後10分程度の打合せを行う)

②事前情報については、カルテ閲覧などの時間調整を組む他に、疾患や治療計画についての再学習する時間も設ける

##### 【フィードバックについて】

Now and Here の原則により業務終了後の通常計画として設ける必要はない。

フィードバックを行う場合、以下の点に留意する。

- ①情報量が過多にならないよう内容を整理して行う。
- ②実習生自身が理解出来ない部分は、改めて臨床場面で見学・模倣・実践を行うよう努める。
- ③CE の意見の押し付けにならないよう臨床実習生のお話をよく聞き、臨床実習生自身が考えをまとめられるよう支援する。また、臨床実習生の理解度を把握し課題設定を行う。
- ④20 分程度を目標とし、連続指導は長くとも 30 分以内が望ましい。
- ⑤30 分を越える指導が必要とされる時は、臨床実習生の負担を考慮し短時間指導を複数回行うよう心がける。また指導内容の焦点化を行い、段階づけて行う。
- ⑥30 分を超える指導が必要と判断される場合は、主任以上の上司に時間内調整かもしくは時間外指導かを相談すること。また、時間外指導に当たる場合は、係長以上に時間外申請を行うとともに、実習生にその指導の目的・終了時間を事前説明し理解を得て計画的に行うこと。
- ⑦就業後のフィードバックは遅くとも 18 時までとする。  
なお、勉強会等で延長する場合は、予定の事前説明を行い臨床実習生の理解を得ること
- ⑧特別の予定がない限り、臨床実習生、CE、サブ CE2 人の 4 名で行う。
- ⑨CE、サブ CE が臨床実習生の情報を共有し、統一した見解での指導を心がける。必要に応じてその他スタッフへもフィードバックを依頼し、指導内容について申し送りを受ける。
- ⑩指導に当たっては抄読が推奨される文献を参照し、CE の経験論ではなく、できる限りコンセンサスや根拠の示された情報での説明を心がける。

## 5) 当院における特徴的な部署や事項の見学

疾患や生活への理解を、より深く学ぶことの必要性の機会を得る目的で、以下についての見学の検討も考慮

### 【経験症例に関すること】

- ・各階カンファレンス・整形外科脊椎カンファレンス、退院支援カンファレンス
- ・作業療法（嚥下訓練）、スプリント・装具作成

### 【リハビリテーション科の業務の見学】

- ・訪問リハビリ（訪問リハビリ担当者へ事前打診）

＊指定規則において2020年4月以降の入学生には1単位(40時間以上)の訪問リハ、通所リハの実習が必要とされている

- ・家屋調査（ご本人・家族の承諾のもと）
- ・介護予防事業等の委託業務

※上記、臨床実習のみ対象とする

見学に当たっては、CEに一任する。ただし実習目標に到達していない場合は、実習目標を最優先する。また、上記業務見学においては、目的が定まっていることが重要であり、見学のための理由では行わない

### 【他部署の業務の見学】

- ・他職種との情報共有、病棟ADL
- ・手術見学（case by caseで管理者に適宜相談）

### 【その他】

- ・各種勉強会への参加

## 6) ハラスメントの防止について

ハラスメント (harassment) のもともとの意味は、「苦しめること」、「悩ませること」である。このことから派生して、「嫌がらせ」や「いじめ」を意味する。近年、社会的な問題として取り上げられている。実習指導において、ハラスメントを防止するため、下記内容を事前に確認しておく必要がある。

例えば、フィードバックは隔離された場所や、学生・指導者の2人のみという環境にならないようにするなどに加え、実習指導においては、その他該当しやすいこともあるので、マニュアルを参考に対応していく。

日本理学療法士協会「[臨床実習の手引き（第6版）](#)」 p35~42

当院「[ハラスメントの防止に関する要綱](#)」「[ハラスメント対応フロー](#)」

2016年10月1日 初版

2019年8月16日 第2版

2021年9月17日 第3版

2022年5月18日 第4版